

## 第1回 コミュニティ・ビジネス in とよなか開催しました

11月18日(土)とよなかインキュベーションセンターにて「コミュニティ・ビジネス in とよなか」を開催しました。CB事業者や支援者、市民の方、たくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

当日の様様をご紹介します。(※詳しくは当センターHPからもご覧いただけますURL:  
<http://www.toyonaka-incu.com/>)



第1部基調講演では「健康をテーマに南米の雇用創出にチャレンジ」をテーマに、田中一夫氏(アマゾンカムカム株式会社 代表取締役社長 左写真)にお話をいただきました。

南米原産の果実・カムカムはビタミンCを多く含む果実。アマゾンカムカム(株)は、このカムカムを現地栽培・輸入し、カムカムを原料とした飲料・食料品をつくらしている豊中市内の企業です。しかし、ただ話題の果実を栽培・輸入し、販売しているのではありません。この事業には、「カムカムの栽培により、雇用の機会を創出し南米の貧困層を

救済する」「麻薬(コカ)栽培撲滅」という大きな目標がありました。今回は、このカムカムプロジェクトについて、お話を伺いました。また、新製品「カムカムアイスクリーム」の試食タイムもありました。

第2部は、CB事業者プレゼン。豊中市内のCB事業者が、各々のサービスを紹介。生演奏あり、試食ありの、こちらも楽しいプレゼンタイムでした。



ライトギターラオフィス



PIA (ピア)



はんじゆく暮楽部



竹炭塾



ハートフルウェア フジイ



チプレッソ (左)

イタリア生活文化交流協会 (右)



アンサンブルサビーナ



第3部は交流会。大盛りパスタ(写真左)や温かいミネストローネなど、美味しい料理が並び、CB事業者、支援者、市民の方、いろいろ話が盛り上がりました(写真右)。



次回「コミュニティ・ビジネス in とよなか」は1月20日(土)

## ご近所さん紹介コーナー⑪ 有限会社 新堂文具店

〒560-0033 蛍池中町3丁目2-1 電話 06-6840-3570 FAX 06-6840-3571

営業時間 10:00~20:00 定休日：第3水曜日

ルシオーレ3階にある「新堂文具店」。量販店とはまたちょっと違う、昔ながらの文房具屋さんの雰囲気が残る、あたたかいお店です。店長の新堂喜代一（しんどう きよいち）さんにお話をうかがいました。



ルシオーレ3階西側にある  
明るく、広いお店です。

—文具店を始められて、どれくらいになりますか？

新堂 ルシオーレができる前は、阪急電車の線路傍の仮設店舗で3年営業していました。ルシオーレができてから今の店になり、4年。開店してから7年になります。

—文具店を始められた理由は？

新堂 30年ほど会社員をしていましたが、退職して文具店を始めました。文具店にしたのは、小資本で出来るから。100円ショップをやってみない？という話もいただきましたが、私は近いうちに「安い」から「いいもの」を求めのお客さんが増えてくるだろうと考えて、オーソドックスに今のような文具店を選びました。

—「これは心がけている」ということはありますか？

新堂 品数を常時多く置くことですね。品数が多くないと、やはりお客さんには来ていただけないですから。経費が多くなっても、それは心がけています。売れ筋ばかり並べるのもひとつのやり方ですが、お客さんが「これが欲しいな」と思って来られて、そしてそれが置いてあると、また来てくださいます。これは商売をする上で特別なことではなく、当たり前のことかなと思いますよ。

—開店から7年ということですが、変化してきたなと思われることはありますか？

新堂 阪急やモノレールを利用されているお客さんが増えましたね。夕方4時以降になるとお客さんが増えます。「もうちょっと遅くまで開けてくれないかな」と言われたりするんですけどね。

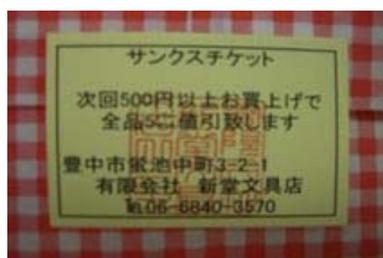
—毎日の営業のなかで、「嬉しいな」と思われるのはどんな時ですか？

新堂 庄内や宝塚から、電車に乗って来られるお客さんがいました。「ルシオーレ3階にある文具店はいいよ」と聞いて来た、と言われました。そんな時は嬉しいですね。

—最後に、今後の抱負をお願いします。

新堂 個人消費が伸びていないなかで、物販はどこも大変です。でも、このままのかたちで変わらず営業し、再来年くらいには私のなかで「完成」と思えるかたちにしたいですね。それからが、本当の意味での正念場になると思っています。

—新堂さんが「完成」と思われるお店をぜひ見たいです。今日はお忙しい中ありがとうございました。



もらって嬉しいサンクスチケット!  
次回500円以上お買い上げで、  
全品5%オフになります。

「いやあ、写真は勘弁を…」と新堂さん、スタッフのみなさんに言われ、今回はお店の写真と割引券の写真となりました。お忙しいなか、お話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。

インタビューの中で「文具店は楽しいと思っていただければいいですね」「お客さんが衝動買いされるようになりました」というお話がありました。買うものが決まってお店にいったけど、たまたま「あ、いいな」と気になるものが目に入り、それも買ってしまった。そんなちょっとした衝動買いの楽しさが、文具店にはあると思いました。みなさんも、気軽に立ち寄れる新堂文具店を、一度のぞいてみてください。探していたあの文房具が、見つかるかもしれませんよ。

## スローライフさくら

福祉用具レンタル・販売、介護保険住宅改修を承っております。電話：06-6840-2255 までお気軽にどうぞ。URL：<http://www.e-sakurasaku.jp/>

## (有) eスローライフ

旅行業法に基づく旅行業や国際交流事業、スポーツに関するマネジメント事業やイベント企画などを承ります。  
電話：06-6858-0104 まで。

## イタリア生活文化交流協会

■イタリア語講座～レベルは入門から上級まで。  
少人数のグループレッソンの他、プライベート、セミプライベートレッスンもあります。  
※開講状況など詳細は、電話またはメールにてお問い合わせください

■毎月第1日曜日サビーナフェスティバル開催!!  
次回は1月7日(日)です。

♪イタリア家庭料理教室(要申込)  
♪銀粘土アクセサリー講座(要申込)  
♪サビーナ・アンサンブルコンサート  
♪蚤の市

※料理教室メニュー、申し込み方法、その他詳細は決まり次第HPに掲載します。  
上記問合せ TEL：06-6844-8787 FAX：06-6844-8788  
メール：[hotaru@sabina-net.jp](mailto:hotaru@sabina-net.jp)  
URL：<http://www.sabina-net.jp/>

## SAKULA CLOSET(サクラクローゼット)

ワンピースを中心に、素材の選定からデザインパターン・縫製・販売に至るまでを手がけています。ランジェリーのような、きれいなレース使いが特徴。レースはフランス製リバーレースを使用しています。  
最新作などは、下記URLでご覧ください。  
URL：<http://www.geocities.jp/sakulacloset>

## ほたる企画

イベントプロデュース、個人商店応援の事業展開中。お問合せは電話：06-6840-5656 まで。

## mway68

mway68は主に中小事業・店舗向けのホームページ制作サービスを提供しています。クライアントとユーザーの両方の立場に立ち、実用的で更新しやすく、そして、見やすく使いやすいホームページ構築を企画・提案します。また、ホームページをより安く効率的に運営するアドバイスも提供しています。  
URL：<http://www.mway68.com/>

## ライトギターラ オフィス

中島桃子ギター教室♪生徒募集中♪  
豊中教室ー北桜塚にある小皿料理「コンテンツ」にてギターの個人レッスンをしています。  
1回3,500円(1ドリンク付)。  
火・金の15:30~16:30で日時応相談。  
初心者歓迎。入会金1万円。  
♪夙川・女性のためのギター教室(時間応相談)  
♪蛸池教室(とよなかインキュベーションセンター)も開催しています。  
問合せ：ライトギターラ オフィス  
電話：090-8163-1105

## M\*create

ホームページの制作から商品パッケージ、ラベルなど印刷物全般のデザイン制作しています。わかりやすく、的確なデザインをご提案いたします。  
電話(&FAX)：06-7175-0505  
メール：[m\\_create@tcct.zaq.ne.jp](mailto:m_create@tcct.zaq.ne.jp)



※とよなかインキュベーションセンターでも、チケットのお取り扱いをしております。

## センターからのお知らせ

### ●第2回 コミュニティ・ビジネス in とよなか ※要申込

■日時：1月20日（土）14:00～19:00

■対象：CB事業者およびCBに関心がある方、豊中市民などどなたでも

■プログラム：

第1部：14:00～16:00 基調講演「ゆず加工製品で地域おこしに大成功」

馬路村農業協同組合 代表理事組合長 東谷望史（とうたに もちふみ）氏

(URL:<http://www.yuzu.or.jp/>)

高知県の山間部にある人口1170人の村が地元産ゆずの加工品で年間30億円の売上をあげている。20年前は2人だった雇用が今では70人が働く職場となり、安定した職場があることで若者が村に戻ってきたという。

基幹産業だった林業の衰退により危機に瀕した村で安定収入が見込める農産物として自家用に栽培しているゆずに目をつけた。しかし高齢化により手が行き届かなくなりゆずの見栄えが低下、販売に苦慮するようになった。

これを青果物としてではなく、加工品として販売する方法を模索しはじめ、試行錯誤の末ヒット商品が次々生まれ、村に若者が戻り、不便な村に多くの視察・観光客が訪れるようになった。

「コミュニティ・ビジネス（CB）とは、地域の課題を地域にある資源に目を向けて、地域住民の生活を豊かにしていくという視点から仕事をつくること」と考えると、まさに馬路村の取り組みはCBの見本と言えるでしょう。

村の存続をかけて「ゆず」を売るということから、地域づくりとはどういうことかを考えるようになったという、馬路村農協の組合長、東谷望史さんに30年間の取り組みと今後の構想をご紹介します。

第2部：16:15～17:00 CB事業者プレゼン～豊中市内のCB事業者によるサービス紹介

※プレゼンするCB事業者募集中です！（豊中市内に限る）

※商品の販売コーナーもあります。

第3部：17:15～19:00 交流会～地域の人、CB事業者、支援者などによる大交流会

（ロビーにおいてCB事業者による展示同時開催。商品の販売会もあります。）

■場所：とよなかインキュベーションセンター2階ホール

■定員：各80名

■参加費：第1部、第2部無料 第3部1,500円

■問合せ・申込先：とよなかインキュベーションセンター

電話 06-6840-1955 FAX 06-6840-1922 E-mail [info@toyonaka-incu.com](mailto:info@toyonaka-incu.com)

※詳細は<http://www.toyonaka-incu.com/cbintoyonaka.htm>をご覧ください。

※第1回（11月18日開催）の様子は[http://www.toyonaka-incu.com/cbintoyonaka\\_report.htm](http://www.toyonaka-incu.com/cbintoyonaka_report.htm)でご覧いただけます。

### ●1月のランチ会

17日（水）12:00より センターロビーにて※昼食は各自ご用意ください。

ランチ会は毎月第1・3水曜日お昼に開催します。お気軽にお立ち寄りください。

なお、1月第1水曜日は、お休みさせていただきます。

◆発行◆

とよなかインキュベーションセンター

〒560-0033 豊中市蛸池中町3-9-20 TEL:06-6840-1955 FAX:06-6840-1922

URL <http://www.toyonaka-incu.com> E-mail [info@toyonaka-incu.com](mailto:info@toyonaka-incu.com)

